

戸田康之さん『ザリガニ』（8月7日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。
今日は、ザリガニについてのお話です。

私は今、ろう学校の幼稚部で仕事をしています。

幼稚部の5歳児、年長クラスで、誰だったか先生からもらったザリガニを1匹、水槽で大事に育てています。エサをやったり触ったり、大人気です。4歳の子たちは怖がっていますが、5歳ともなると平気で触り、とてもかわいがっています。名前も、何だったか私は分かりませんがつけているようで、クラスで育てているんです。

遊ぶ時にもザリガニを水槽に入れて一緒に連れて行くくらい、かわいがっています。たまたま外遊びにザリガニを連れて行き、その後が給食だった時、本当ならザリガニを教室に戻すところを、ある女の子がザリガニを外に置きっぱなしにしたまま給食に行ってしまったんです。

給食を食べ終えてザリガニを置いた所に行ってみると水槽にザリガニがいません。どうしたのかと思っていると、水槽の外にザリガニのハサミだけがあったんです。周囲を見てみると、カラスがいました。カラスがザリガニを襲ったようです。女の子は残されたハサミを見てすごくショックを受け、ザリガニはいない、残っているのはハサミだけ、大泣きでした。カラスが食べちゃった、教室に持って帰れば良かった、とわんわん泣いていました。

お墓を作ろうということになり、ザリガニやハサミの絵を描き、残っていたハサミを大事に埋めて描いた絵を供えました。女の子も泣きながら手を合わせていました。埋めたハサミをもう一度見たいと言うので掘り返してあげると、そこにあるのはハサミだけ。女の子は、土に埋めると生き返ると思ったようです。死んでしまったら天国に行くんだよ、生き返らないんだよと言うとまた泣いていましたが、どんな命も1度死んでしまったら元には戻らないから大切にしなければいけないだと知る、女の子にとって良い経験になったなと思いました。